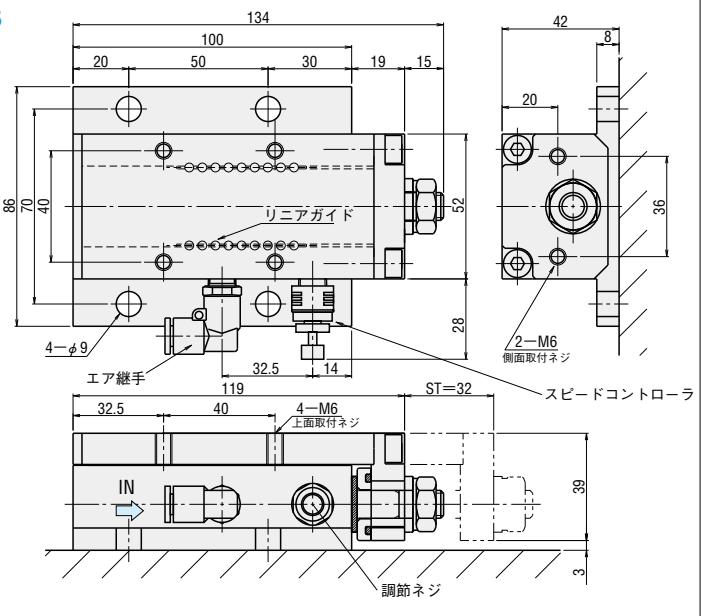




- ・使用圧力: 0.3~0.6MPa (3.1~6.1kgf/cm²)
- ・最大ストロークST: 32mm
- ・最大搬送荷重: 150N (15.3kgf)
- ・使用温度: 0~60°C
- ・配管用チューブ径: φ6
- ・最大傾斜角度: 8度

RoHS10

MREE15

Order
注文例型式
MREE15Delivery
出荷

在庫品

■特長

- ・エア配管をするだけで、振動によりスクラップを搬送するユニットです。
- ・ベルトコンベアのようなAC電源やベルト破断の心配がありません。
- ・エアシリンダのような電磁弁などの配線が不要です。
- ・ボルト式のリニアガイドのため偏心荷重に強く、スムーズな動きを実現しました。

■空気消費量 (荷重150N)

| MPa | ℓ/min |
|-----|-------|
| 0.3 | 15 |
| 0.4 | 22 |
| 0.5 | 26 |
| 0.6 | 39 |

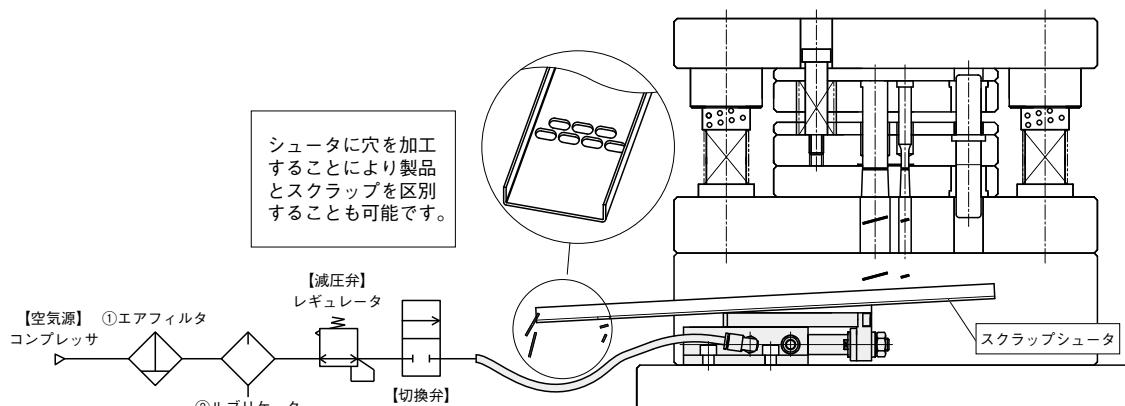
※スピードコントローラ全開時

■使用方法

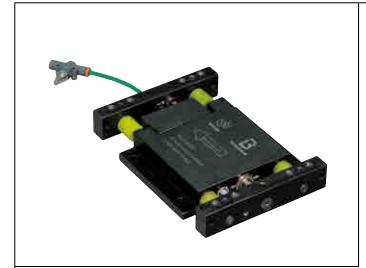
- ・圧縮空気(0.3~0.6MPa)をスクラップリムーバーのエア継手に接続するとテーブルが振動を始めます。配管チューブは外径6mm、内径4mmをご使用ください。
- ・スピードコントローラのねじを調節し、適正なスピードの所でナットを固定します。
- ・スクラップの搬送を容易にするには、スクラップシュータの傾きを変えるか、スクラップリムーバーと固定ベースの間にプレートかワッシャを挿入しスクラップリムーバーを傾けます。
- ・スクラップシュータの取り付けは上面で皿ボルトで取り付けるか、側面のタップ穴にL形アングルを取り付けスクラップシュータを溶接してください。
- ・スクラップシュータ上面に油の滴下量が多い場合、エンボスシュータ板(**EP.1256**)を貼り付けてください。
- ・スクラップの重量が重い場合には、スクラップがスクラップシュータ上で一様に分布させるようにしてください。

■注意事項

- ・スクラップシュータを左右均等ではなく、一方向にのみ長くなるように取り付けると高い曲げモーメントがかかり振動が鈍くなることがあります。その場合にはスクラップシュータにローラーをつけるなどの補助をしてください。
- ・使用するエアは①エアフィルタ②ルブリケータを通してください。エアに含まれるゴミ等によって作動不良をおこす場合があります。



シュータに穴を加工することにより製品とスクラップを区別することも可能です。



RoHS10

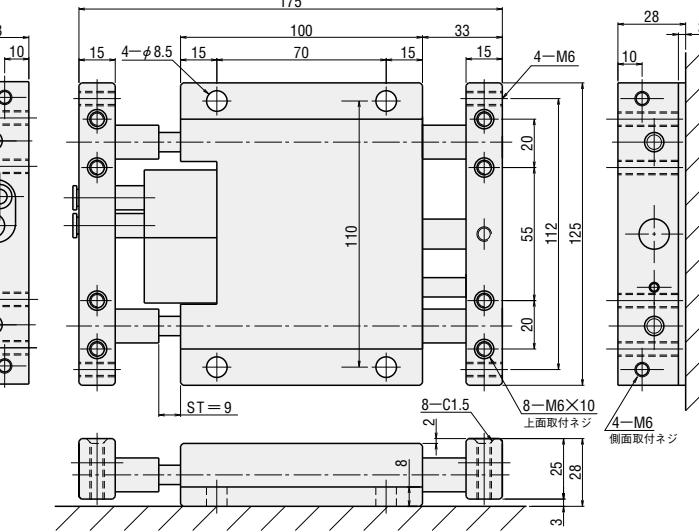
MRE50

エア継手(チューブ径φ6)
(IN)

スピードコントローラ
(OUT)

- ・使用圧力: 0.3~0.6MPa (3.1~6.1kgf/cm²)
- ・最大ストロークST: 9mm
- ・最大搬送荷重: 500N (51kgf)
- ・使用温度: 0~60°C

A付属品 スピードコントローラ
配管用チューブ: φ4×100mm

Order
注文例型式
MRE50Delivery
出荷

在庫品

■特長

- ・MRE50は往復時の速度を変えて材料を搬送する仕組みのため、高い方(max 2°)へ搬送することもできます。
- ・エアの消費量はMREE15に比べ1/2以下となっています。
- ・スピードコントローラを外部に設置できるため狭い場所でもスピード調整が容易に行えます。
- ・ベルトコンベアのようにAC電源やベルト破断の心配がありません。
- ・エアシリンダのような電磁弁などの配線が不要です。
- ・リニアブッシュによるガイド方式のため偏心荷重に強く、スムーズな動きを実現しました。

■空気消費量 (荷重250N)

| MPa | ℓ/min |
|-----|-------|
| 0.3 | 7 |
| 0.4 | 9 |
| 0.5 | 11 |
| 0.6 | 13 |

※スピードコントローラ全開時

■使用方法

- ・圧縮空気(0.3~0.6MPa)をスクラップリムーバーのエア継手に接続するとテーブルが振動を始めます。配管チューブは外径6mm、内径4mmをご使用ください。
- ・スピードコントローラのねじを調節し、適正なスピードの所でナットを固定します。

- ・スクラップの搬送を容易にするには、スクラップシュータの傾きθを変えるか、スクラップリムーバーと固定ベースの間にプレートかワッシャを挿入しスクラップリムーバーを傾けます。
- ・スクラップシュータの取り付けは上面で皿ボルトで取り付けるか、側面のタップ穴にL形アングルを取り付けスクラップシュータを溶接してください。
- ・スクラップシュータ上面に油の滴下量が多い場合、エンボスシュータ板(**EP.1256**)を貼り付けてください。
- ・スクラップの重量が重い場合には、スクラップがスクラップシュータ上で一様に分布させるようにしてください。

■注意事項

- ・スクラップシュータを左右均等ではなく、一方向にのみ長くなるように取り付けると高い曲げモーメントがかかり振動が鈍くなることがあります。その場合にはスクラップシュータにローラーをつけるなどの補助をしてください。
- ・使用するエアは①エアフィルタ②オイルミストセパレーターを通してください。エアに含まれるゴミ等によって作動不良をおこす場合があります。

■スクラップシュータの取付例

